

第 1 章 第7次厚木市道路整備五箇年計画の事業評価

第7次道路整備五箇年計画により、幹線市道の整備や交差点の改良、歩道の整備などを進め、供用に至った道路事業により、交通渋滞の緩和など確実に整備効果が発現しました。そのほかの計画事業についても進捗状況などを検証した中で、継続して整備が必要な事業は、次期計画に位置付け、整備の継続、若しくは供用開始を目指します。

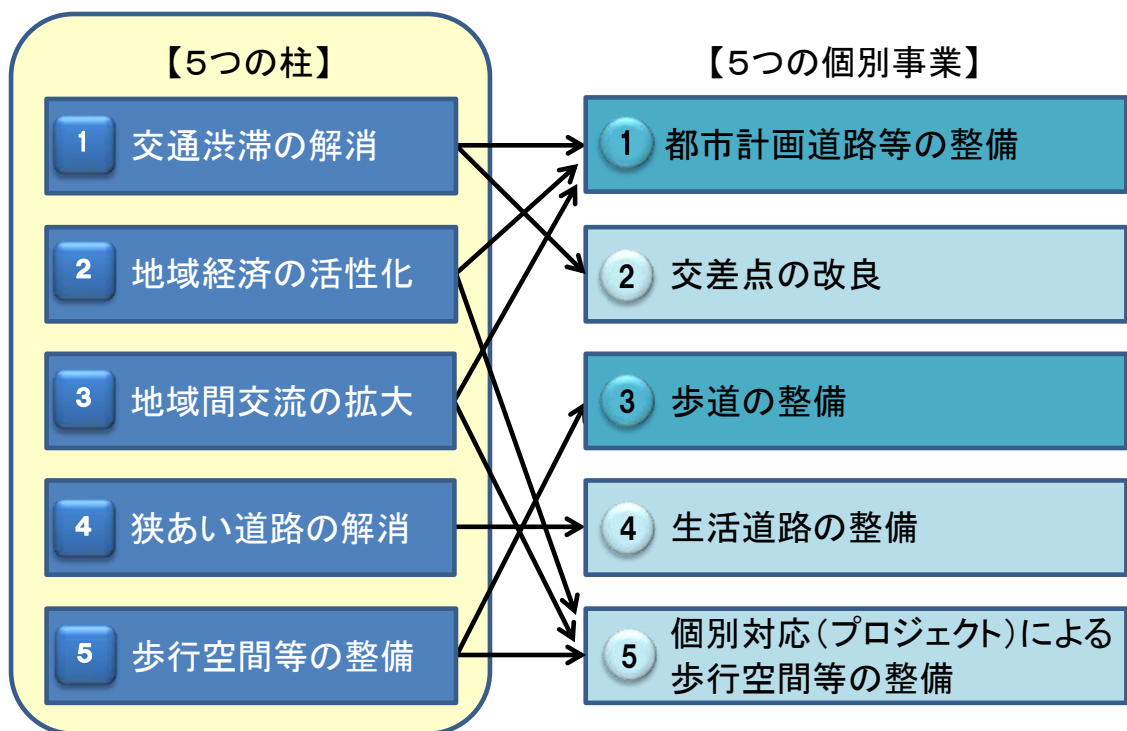


1-1 計画の概要

第7次厚木市道路整備五箇年計画（計画期間：平成25～29年度）は、第6次厚木市道路整備五箇年計画（計画期間：平成20～24年度）で設定した道路整備方針を継承し、5つの個別事業からなる道路整備計画を立案しました。

また、個別事業ごとに、事業目的、目的に対応した計画事業、事業の実施状況を確認するための評価指標を定めました。

■道路整備の方針



…第6次五箇年計画以降の計画も含め2020年度までを1つの事業期間と捉え継続的に整備する。

…五箇年計画を1つの事業期間として整備する。

■第7次厚木市道路整備五箇年計画の概要

| 5つの個別事業 | 目的 | 計画事業 (路線) | 評価指標 |
|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|------------------|
| ①都市計画道路等の整備 | <p>■第6次五箇年計画から継続して、2020年度までに供用開始を予定している高規格幹線道路等や中心市街地の交通の利便性に鑑み、都市計画道路の整備や既存ストックを活用した幹線市道等の整備を進める。</p> | 18 路線 | 事業の整備率 (整備延長) |
| ②交差点の改良 | <p>■短期的な渋滞対策としてのボトルネック交差点や、交通安全の強化を図る交差点を改良する。</p> | 12 事業 | 事業の箇所数 |
| ③歩道の整備 | <p>■1・2級市道に係る歩行者の安全性に考慮し、要望路線等の計画的な歩道整備を実施する。特にバリアフリーの観点から安心、安全な歩行空間の確保に努める。</p> <p>■通学児童等の安全性の向上、公共交通の利用促進を図るため、歩道の連続性の向上(ネットワークの整備)を図る。</p> | 11 路線 | 事業の整備率 (整備延長) |
| ④生活道路の整備 | <p>■緊急車両の通行や消火活動、震災時の避難路の確保及び生活環境の改善のために、地域の実情や市民要望を踏まえ、狭あいな生活道路を整備する。</p> | 175 事業 | 事業件数 |
| ⑤個別対応(プロジェクト)による歩行空間等の整備 | <p>■中心市街地の活性化や地域間交流の拡大など、ふれあいを感じるまちづくりを支援するため、歩行空間等の整備を個別計画に基づき実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○無電柱化事業 ○自転車走行空間整備事業 ○健康・交流のみちづくり事業 | 3 事業 | — |

1-2 計画の事業評価

(1) 事業の進捗状況

計画した 219 事業（追加 7 事業含む）に対し、生活道路の整備が目標を 21 事業上回ったため、232 事業の着手となり、着手率は 106% になりました。

整備済みの延長若しくは箇所数から算出した整備率は個別対応（プロジェクト）を除く 4 事業の平均で 68% となっています。

なお、整備完了した事業においては、交通渋滞の緩和、物流の円滑化、安全性の向上などの効果が発現しました。

■ 第7次厚木市道路整備五箇年計画事業進捗表

| 事業名 | 計画事業 (路線) [うち追加事業数] ※1 | 着手事業 (路線) B | 着手率 C=B/A | 計画数 D | 整備済 E | 整備率 F=E/D |
|--------------------------|---------------------------------|-------------------|--------------|-------------------|-----------------|------------------|
| | A | | | | | |
| ①都市計画道路等の整備 | 18 路線 | 12 路線 | 67% | 10.5Km (18 路線) | 4.3Km (6 路線) | 41% |
| ②交差点の改良 | 12 事業 [追加3事業] | 11 事業 | 92% | 12 箇所 | 5 箇所 | 42% |
| ③歩道の整備 | 11 事業 [追加3事業] | 10 事業 | 91% | 1.8Km (11 路線) | 1.4Km (7 路線) | 78% |
| ④生活道路の整備 | 175 事業 | 196 事業 ※2 | 112% | 175 事業 | 196 事業 ※2 | 112% |
| ⑤個別対応（プロジェクト）による歩行空間等の整備 | 3 事業 [追加3事業] | 3 事業 | 100% | | | |
| 合計 | 219 事業 | 232 事業 | 106% | — | — | 68% (4 事業の平均) |

※1 追加事業数は、第7次道路整備五箇年計画策定後に通学路の指定がされた路線など、市民からの整備要望が高いものなどを計画に追加して対応した事業。

※2 「生活道路の整備」の着手事業数及び整備済み路線数が計画事業数を超過しているのは、年間 35 事業を整備目標として計画していたものが、5 年間の整備実績では計画を 21 事業上回ったため。

(2) 事業別の評価

1) 都市計画道路等の整備

総合評価

2020年度までに供用開始を予定している高規格幹線道路等や、交通の利便性を向上させる都市計画道路、既存ストックを活用した幹線市道等の整備を進めました。

その結果、第7次五箇年計画中に「完成（供用）」を予定していた8路線のうち、6路線が供用し、着実に道路整備が進展しました。

一方、6路線については、事業着手するまでには至りませんでした。道路整備は、厚木市のみならず国や県なども実施しています。道路は、ネットワーク化されることで多大な効果を発揮するため、関連するほかの道路事業等と調整を図りながら事業を進める必要があります。その調整のため、事業着手時期が変更になった事業もあります。

また、市民の方々からの要望が高い「渋滞」に対し、少しでも早く渋滞緩和効果が発現するよう、現在整備している事業の早期供用を目指したことも、新規事業の着手に至らなかった理由の一つといえます。










■都市計画道路等の整備に関する総合評価

| 計画延長 (計画路線数) | 整備済延長 (完成及び整備中路線数) | 達成率 |
|------------------|-----------------------|--------------|
| 10.5km (18路線) | 4.3km (12路線) | 41% (67%) |

事業評価

■都市計画道路等の整備に関する事業評価(その1)

| No | 事業(路線)名 | 役割 |
|----|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 3・4・15 溝野日影坂上線 (上依知) | 内陸工業団地へのアクセス道路として、重要な物流機能を担うとともに、さがみ縦貫道路相模原愛川ICとのアクセスをスムーズにします。また、併せて歩道も整備することにより、歩行者の安全確保も図りました。 |
| 2 | 1-28 中津川左岸堤防道路(1期分) (関口～棚沢) | 関口地区内の堤防道路の側道の整備(160m)を行うことにより、中津川左岸堤防道路の2期分を連結し、スムーズな地域間の連携を図りました。 |
| 3 | 1-28 中津川左岸堤防道路(2期分) (関口～下依知) | 国道129号や才戸橋周辺の慢性的な渋滞を緩和し、市北東部の交通の利便性の向上を図ります。 |
| 4 | 1-29 横林上飯山線 (上荻野～飯山) | 国道412号と県道60号(厚木清川)を連絡する路線であり、地域間を結ぶ環状系道路として、交通の円滑化を図りました。 |
| 5 | 3・3・5 厚木環状3号線 (愛名～飯山) | 県道63号相模原大磯から下古沢方面への延伸を図るとともに、森の里東土地区画整理事業施行地区への主要なアクセス道路としての機能も兼ね備えます。 |
| 6 | 3・4・11 厚木環状2号線 (三田～下荻野) | 厚木バイパス線から妻田中荻野線を結ぶルートとして、厚木秦野道路を補完する機能を担います。(厚木秦野道路の側道) |
| 7 | 3・4・8 本厚木下津古久線 (酒井～下津古久) | 新東名高速道路厚木南ICへのアクセス機能を高め、国道129号のバイパスとしても機能し、渋滞緩和が図られます。さらに、南部産業拠点地区への企業誘致を促進させ、地域経済の活性化及び地域間交流の拡大に寄与します。 |
| 8 | 3・4・12 酒井長谷線 (愛甲東3丁目) | 本厚木下津古久線の整備に合わせ、本厚木下津古久線までの未整備区間を整備することにより、厚木市西部地域と新東名高速道路厚木南ICへのアクセス機能を高め、南部産業拠点地区への企業誘致の促進と地域経済の活性化を図ります。 |
| 9 | 3・4・10 尼寺原幹線 (飯山) | 市道辻戸室線を延伸させ、船子飯山線と連結することにより、宮の里から荻野地区、さらには国道412号への交通を円滑にします。 |

| 整備計画 | 計画延長 整備延長 | 整備状況 | 完成により 発現した効果 | 備考 【事業期間】 |
|--------|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| H25 完成 | 510m 510m |  |   | 【H14～27年度】 |
| H25 完成 | 2,200m 2,200m |  |  | 【H13～25年度】 |
| 継続整備 | 2,200m 0m |  | | 神奈川県に築堤整備の要望活動 |
| H26 完成 | 700m 700m |  |   | 【H20～26年度】 |
| 継続整備 | 1,700m 0m |  | | H26～用地買収 H28～工事着手（愛名側） 【H26年度～】 |
| 継続整備 | 1,000m 0m |  | | H28～用地買収 【H28年度～】 |
| H28 完成 | 1,630m 0m |  | | H25～用地買収 【H25年度～】 |
| H28 完成 | 160m 0m |  | | H26～用地買収 【H26年度～】 |
| 事業着手 | 550m 0m |  | | 進捗なし |

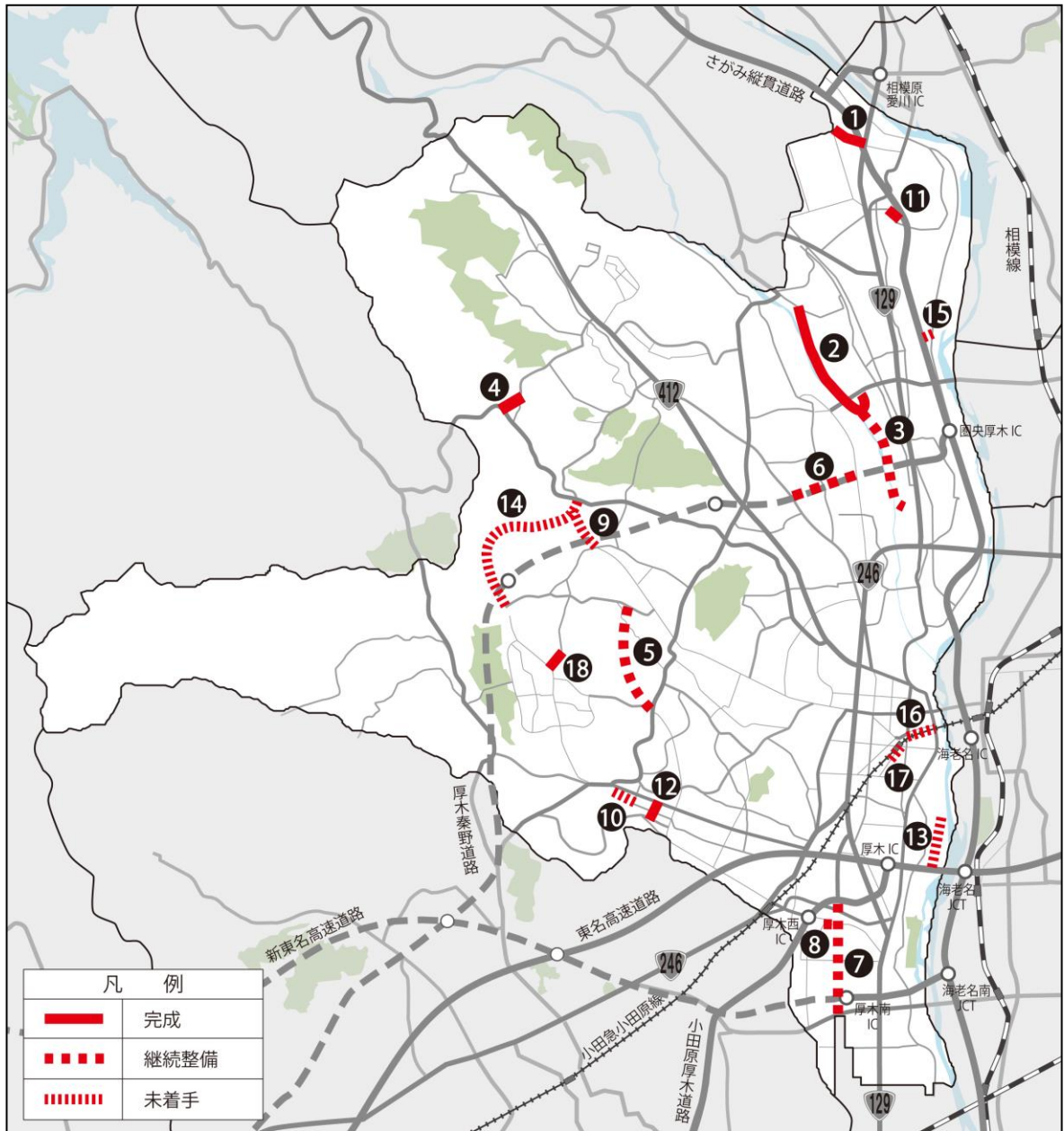
■都市計画道路等の整備に関する事業評価(その2)

| No | 事業(路線)名 | 役割 |
|----|-------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10 | F-335 (仮称)小野宮の脇線 (小野) | 朝夕のピーク時に渋滞が発生している県道 603 号(上粕谷厚木)を補完する道路として整備し、交通集中の分散化を図ります。 |
| 11 | 2-45 藤塚昭和橋線 (上依知) | 上依知小学校の通学路にも指定されている路線で一部に幅員の狭いエリアがあるため、これを整備することにより、円滑な通行と安全な交通を図りました。 |
| 12 | 2-54 赤坂竹ノ内線 (小野) | 愛甲長谷線の赤坂交差点の、朝夕の慢性的な渋滞に対処するため、赤坂交差点を回避する新たな道路を整備し、赤坂交差点への交通集中の分散化を図り、周辺地域の交通の円滑化を図りました。 |
| 13 | 相模川右岸堤防道路 (岡田) | 現在、旧斎場跡地で行き止まりとなっている堤防道路を、東名高速道路の相模川橋まで延伸し、厚木戸田線を補完する役割を担います。 |
| 14 | 3・4・17 船子飯山線 (飯山) | 尼寺原幹線との合流点から宮の里入口交差点までを整備することにより、宮の里を経て国道 412 号まで連絡する環状道路としての機能を果たします。また、厚木秦野道路の整備進捗により(仮)森の里 IC に連絡し、環状道路としての機能を果たします。 |
| 15 | (仮称)厚木 PA スマートインターチェンジ整備 (関口・山際) | 相模川右岸堤防道路からさがみ縦貫道路厚木 PA への出入りを簡易にすることで、関口中央交差点の交通環境を改善するほか、さがみ縦貫道路の利用がスムーズになり、近隣市も含めた広域連携を図ります。 |
| 16 | 3・6・1 中町北停車場線 (中町 1 丁目～厚木町) | 中町第 2-2 地区の整備事業の進捗に合わせ、事業エリアに接する約 160m の整備を進め、厚木バスセンターを含めた駅周辺の交通の円滑化を図ります。また、全線完成後は県道 602 号本厚木停車場と県道 601 号酒井金田を結ぶ機能も担います。 |
| 17 | 3・5・2 本厚木停車場旭町線 (泉町) | 本厚木駅南口地区市街地再開発事業の進捗に合わせ、本厚木駅南口広場約 0.4ha の拡充整備を進め、安全・快適な歩行環境の向上と交通結節点の機能強化を図ります。 |
| 18 | 2-24 森の里上古沢線 (森の里青山～上古沢) | 都市計画道路 3・4・17 船子飯山線から森の里東土地区画整理事業施行地区への主要なアクセス道路としての拡幅整備を行いました。 |

| 整備計画 | 計画延長 整備延長 | 整備状況 | 完成により 発現した効果 | 備考 【事業期間】 |
|--------|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 事業着手 | 700m 200m |  | | 進捗なし |
| H27 完成 | 320m 320m |  |   | 【H25～28年度】 |
| H28 完成 | 358m 358m |  |  | 【H27～29年度】 |
| 事業着手 | 650m 0m |  | | 進捗なし |
| 事業着手 | 300m 0m |  | | 進捗なし |
| 継続整備 | 1箇所 0箇所 |  | | 関係機関調整 測量・設計ほか H28～用地取得 |
| 事業着手 | 160m 0m |  | | 進捗なし |
| 事業着手 | 80m 0m |  | | 進捗なし |
| H28 完成 | 160m 160m |  |  | 【H28年度】 |

位置図

■都市計画道路等の整備の進捗状況



| 凡 例 | |
|-----|------|
| | 完成 |
| | 継続整備 |
| | 未着手 |

<第7次計画事業>

| No. | 事業(路線)名 | No. | 事業(路線)名 |
|-----|---------------------|-----|--------------------|
| ① | 3・4・15 溝野日影坂上線 | ⑩ | F-335 (仮称) 小野宮の脇線 |
| ② | 1-28 中津川左岸堤防道路(1期分) | ⑪ | 2-45 藤塚昭和橋線 |
| ③ | 1-28 中津川左岸堤防道路(2期分) | ⑫ | 2-54 赤坂竹ノ内線 |
| ④ | 1-29 横林上飯山線 | ⑬ | 相模川右岸堤防道路 |
| ⑤ | 3・3・5 厚木環状3号線 | ⑭ | 3・4・17 船子飯山線 |
| ⑥ | 3・4・11 厚木環状2号線 | ⑮ | (仮称) 厚木PAスマートパーク整備 |
| ⑦ | 3・4・8 本厚木下津古久線 | ⑯ | 3・6・1 中町北停車場線 |
| ⑧ | 3・4・12 酒井長谷線 | ⑰ | 3・5・2 本厚木停車場旭町線 |
| ⑨ | 3・4・10 尼寺原幹線 | ⑱ | 2-24 森の里上古沢線 |

Pickup

■都市計画道路等の整備の事業効果(その1)

3・4・15 溝野日影坂上線（上依知） 【平成27年度完成】

内陸工業団地とさがみ縦貫道路相模原愛川ICを直結し、物流の円滑化を図り、地域経済の活性化を支援しています。

工業団地からのトラックの交通量が多い道路ですが、幅員の広い歩道を整備して、周辺住宅地住民が安全に利用できる道路空間を確保しました。



1-29 横林上飯山線（上荻野～飯山） 【平成26年度完成】

厚木市内の幹線道路である国道412号と県道60号厚木清川が2車線道路で連絡され、地域間の移動が円滑になりました。



横林上飯山線整備前の
県道とのアクセス道路(1車線)



Pickup

■都市計画道路等の整備の事業効果(その2)

2-54 赤坂竹ノ内線 (小野)
【平成 29 年度完成】

赤坂交差点に集中する交通を分散化する道路が整備されたため、赤坂交差点をはじめ、周辺道路で慢性的な交通渋滞が緩和されました。



籠堰橋北側交差点 国道 246 号方向
(平成 29 年 11 月)



赤坂竹ノ内線



赤坂交差点 毛利台方向 (平成 29 年 11 月)



赤坂竹ノ内線 (平成 30 年 3 月 開通)



赤坂橋

2) 交差点の改良

総合評価

交通が集中し、通行支障が発生している交差点の解消に向け、交差点の形状変更や路面標示など比較的短期に整備が可能な交差点改良の整備を進めてきました。

第7次五箇年計画策定時は9事業を計画していましたが、市民からの整備要望が多く、緊急性が高い3交差点での事業を追加し、合わせて12事業を進めてきました。このうち5事業が終了し（達成率42%）、交通の円滑化や交通安全の強化が図られました。

■ 交差点改良に関する総合評価

| 計画事業数 | 完成事業数 | 達成率 |
|-------|-------|-----|
| 12事業 | 5事業 | 42% |

事業評価

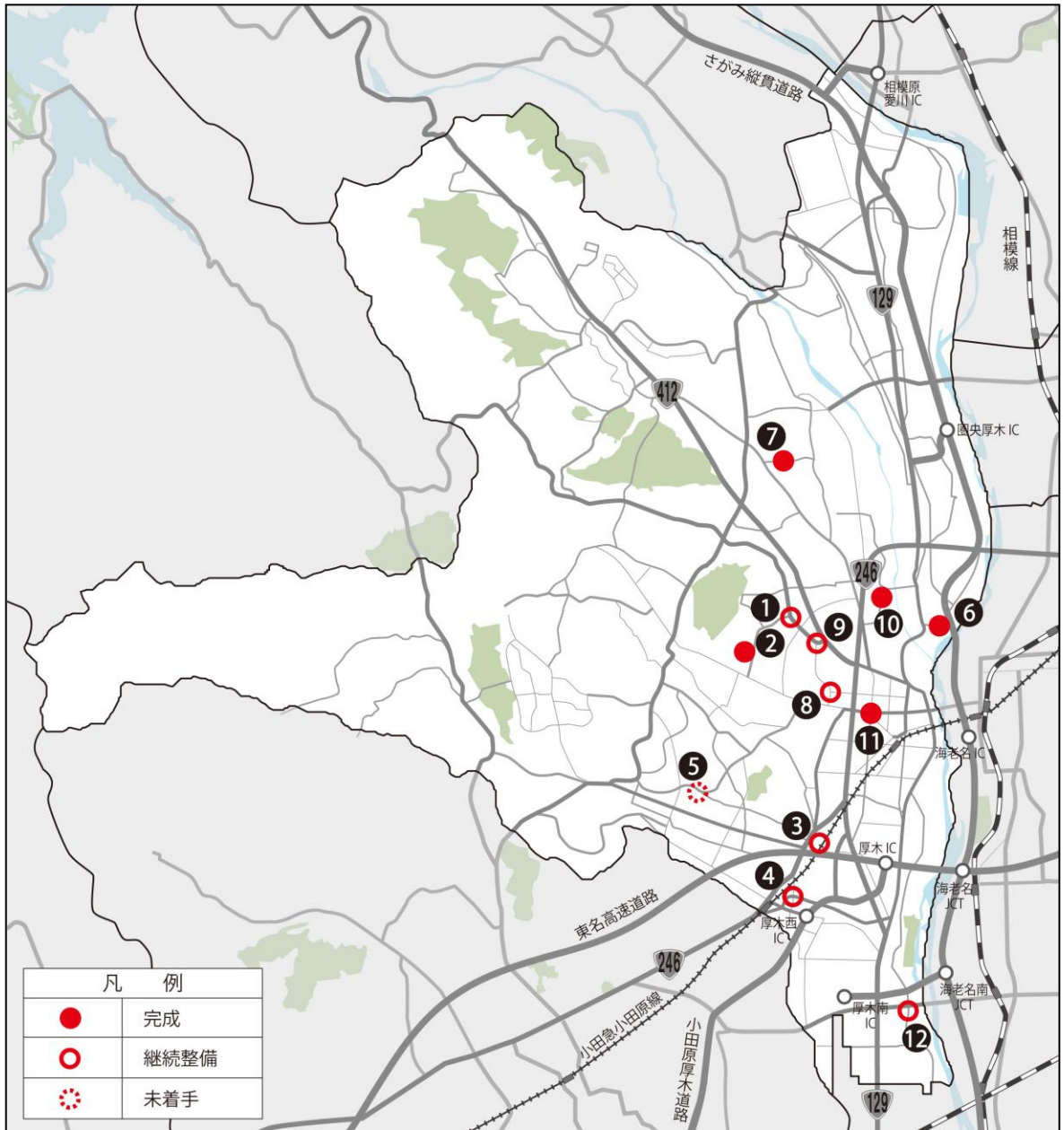
■交差点の改良に関する事業評価

| No | 事業(交差点)名 | 役割 |
|----|-----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 林交差点 (林・王子) | 県道60号厚木清川に接続する市道1-10緑ヶ丘幹線に右折レーンを設置、又は車道幅員を広げることにより、緑ヶ丘幹線の渋滞の解消を図ります。 |
| 2 | (仮称) 県営緑ヶ丘団地南側交差点 (緑ヶ丘2丁目・5丁目) | 市道E-217とE-242の交差点で、歩道の位置を現在の南側から北側に付け替え、歩行者の安全な動線を確保しました。 |
| 3 | 本厚木17号踏切 (市道A-198号線) (船子) | 市道A-198の本厚木17号踏切で、車道幅員を広げ、両側歩道を設置し歩行者及び車両の通行に対する安全を確保します。 |
| 4 | 愛甲仲町交差点 (愛甲・愛甲東1丁目) | 県道604号愛甲石田停車場酒井と市道2-11宿愛甲片町線の交差点を十字に改良し、交差点内における安全な通行を確保します。 |
| 5 | (仮称) 観音坂交差点 (長谷) | 市道1-23水引小野線と市道2-13船子中長谷線の交差点をT字形に改良し、交差点内における安全な通行を確保します。 |
| 6 | (仮称) 東洋ソフラン北側交差点 (金田) | 市道B-1の車道幅員を広げ、通行する車両の安全を確保しました。 |
| 7 | (仮称) 山王坂上バス停前交差点 (三田) | 市道2-32道慶塚東下原線の歩道を改良し、歩行者溜まりを広げ、市道D-346・D-463を横断する歩行者の安全を確保しました。 |
| 8 | 厚木警察署西側交差点 (戸室1丁目・2丁目) | 市道2-51戸室幹線と市道2-5寿町戸室線の道路全体の幅員を広げ、車道幅の確保及び歩道の設置により歩行者及び車両の通行に対する安全を確保します。 |
| 9 | 戸室交差点 (戸室1丁目・4丁目) | 県道60号厚木清川と市道2-51号線のT字形の交差点について、車道幅の確保と歩道設置により交差点内における安全な通行を確保するとともに交通の円滑化を図ります。 |
| 10 | (仮称) 妻田東ハイツ西側交差点 (妻田東1丁目・2丁目・3丁目) | 市道2-28金田妻田線と市道D-90の交差点の車道幅員を広げ、歩行者の安全及び円滑な通行を確保しました。 |
| 11 | 中央公園西側交差点 (水引1丁目) | 県道603号上粕屋厚木に接続する市道1-3本厚木松枝線の交差点の車道幅員を広げ、歩行者の安全及び円滑な通行を確保しました。 |
| 12 | (仮称) 戸田バス停北側交差点 (戸田) | 市道2-8厚木戸田線と市道G-76・G-77の交差点の車道幅員を広げ、歩行者の安全及び円滑な通行を確保します。 |

| 整備計画 | 整備状況 | 完成により 発現した効果 | 備考 |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 継続整備 |  | | H28 信号現示等見直し |
| H25 完成 |  |  | |
| 継続整備 |  | | H29 道路拡幅完成 H29～ 踏切部改修 |
| 継続整備 |  | | 県土木、警察と協議し、誘導表示等 通行区分の明確化実施 |
| 継続整備 |  | | 沿線地権者と用地交渉中 |
| H27 完成 |  |  | |
| H25 完成 |  |  | |
| 継続整備 |  | | H28 地元協議 |
| 継続整備 |  | | 県・市合同で整備 H28 地元協議 |
| 計画追加 |  |  | |
| 計画追加 |  |  | |
| 計画追加 |  | | H29 一部交差点の整備完了 |

位置図

■ 交差点の改良の進捗状況



< 第7次計画事業 >

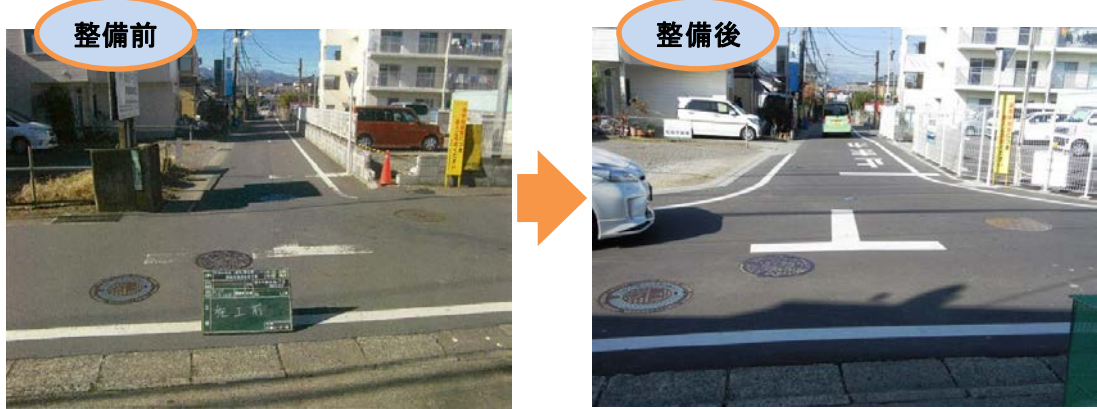
| No. | 事業(交差点)名 | No. | 事業(交差点)名 |
|-----|-------------------|-----|------------------|
| ① | 林交差点 | ⑦ | (仮称) 山王坂上バス停前交差点 |
| ② | (仮称) 県営緑ヶ丘団地南側交差点 | ⑧ | 厚木警察署西側交差点 |
| ③ | 本厚木 17 号踏切 | ⑨ | 戸室交差点 |
| ④ | 愛甲仲町交差点 | ⑩ | (仮称) 妻田東ハイツ西側交差点 |
| ⑤ | (仮称) 観音坂交差点 | ⑪ | 中央公園西側交差点 |
| ⑥ | (仮称) 東洋ソフラン北側交差点 | ⑫ | (仮称) 戸田バス停北側交差点 |

Pickup

■交差点の改良の事業効果

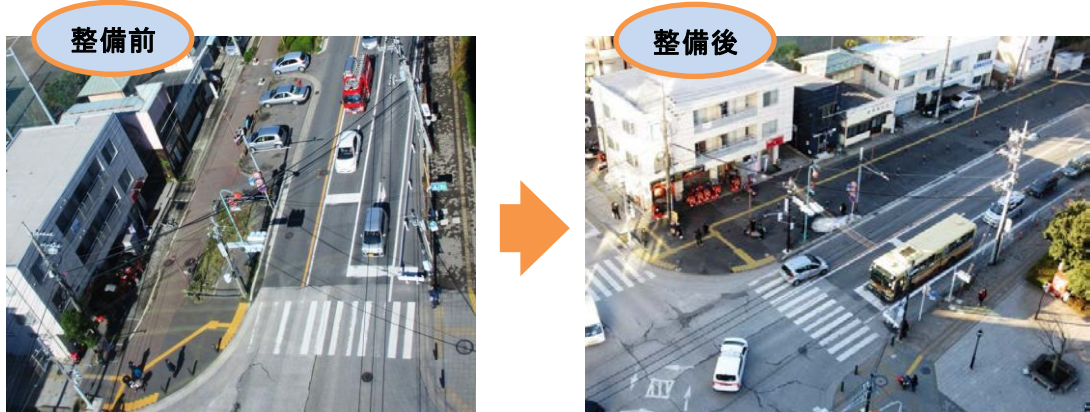
（仮称）妻田東ハイツ西側交差点【平成28年度完成】

交差点部の道路幅員を広げたため、車両の円滑な通行、歩行者の安全性が向上しました。



中央公園西側交差点【平成28年度完成】

厚木中央公園は、市内で人気の高い公園でもあるため、歩道に点字ブロックを設置し、バリアフリー化を進めました。



（仮称）東洋ソフラン北側交差点【平成27年度完成】

交差点部の道路幅員と線形を改良し、車両の円滑な走行と安全性が向上しました。



3) 歩道の整備

総合評価

歩道は、一部でも連続性が絶たれているとその機能が低下することから、歩道の連続性の向上（ネットワークの整備）を図ることが必要です。

都市計画道路以外の1・2級市道には、十分な歩道が整備されていない現状にあることから、通学児童等の安全性の向上や公共交通の利用促進を図るための歩道整備を進めました。

第7次五箇年計画策定時は8路線を計画していましたが、市民からの整備要望が高く、かつ通学路に指定されていた3路線を追加し、合わせて11路線の整備を進めてきました。このうち7路線が完成し、計画延長1.8kmに対する整備延長は1.4km（達成率78%）と、歩道の連続性が確保され、歩行者の安全性や利便性の向上が図られました。

■歩道の整備に関する総合評価

| 計画延長 (計画路線数) | 整備済延長 (完成及び整備中路線数) | 達成率 |
|------------------|-----------------------|--------------|
| 1.8km (11 路線) | 1.4km (10 路線) | 78% (91%) |

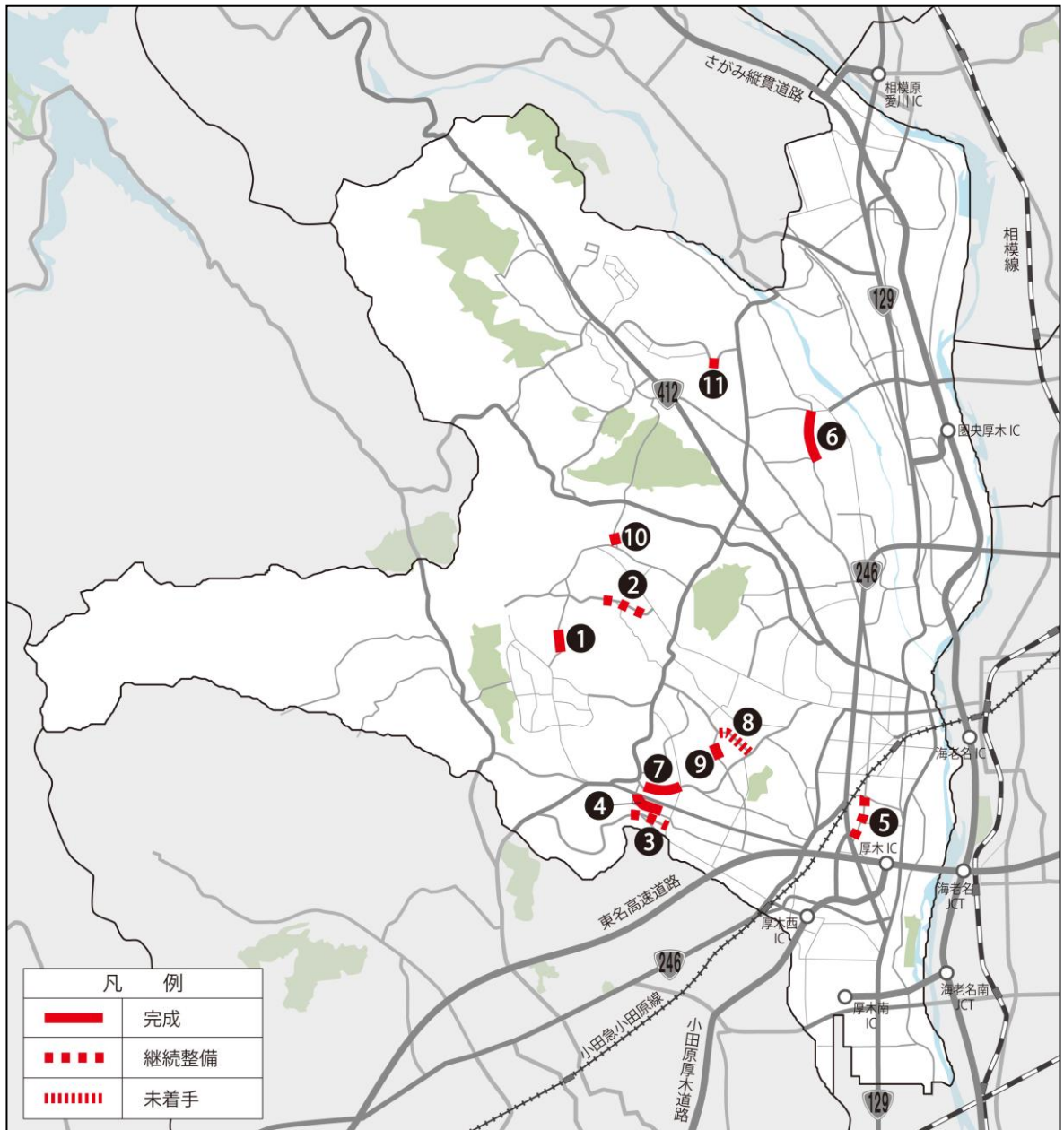
事業評価

■歩道の整備に関する事業評価

| No | 事業(路線)名 | 整備計画 | 計画延長 整備延長 | 整備状況 | 完成により 発現した効果 | 備考 【事業期間】 |
|----|----------------------------|-----------|--------------|-----------|-----------------|----------------------------------|
| 1 | 2-24 森の里上古沢線 (上古沢) | H28 完成 | 250m 250m | H29 完成 | 歩行 空間 整備 | 【平成29年度】 |
| 2 | 1-14 簗谷上古沢線 (飯山・上古沢) | 継続 整備 | 230m 180m | 継続 整備 | | 【平成21~30年度】 都市計画道路等の整備へ 継続 |
| 3 | 1-21 赤坂津古久環状線 (小野) | 継続 整備 | 180m 0m | 継続 整備 | | 【平成30年度~】 都市計画道路等の整備へ 継続 |
| 4 | 2-12 坊中竹ノ内線 (小野) | H27 完成 | 80m 80m | H27 完成 | 歩行 空間 整備 | 【平成26~27年度】 |
| 5 | 2-4 昭和用水線 (岡田1~3丁目) | 継続 整備 | 400m 180m | 継続 整備 | | H26 完成(南側) 【平成21年度~】 |
| 6 | 2-30 白根才戸線 (三田) | H26 完成 | 90m 90m | H26 完成 | 歩行 空間 整備 | 【平成23~26年度】 |
| 7 | 1-23 水引小野線 (長谷) | H26 完成 | 175m 175m | H26 完成 | 歩行 空間 整備 | 【平成21~26年度】 |
| 8 | 1-8 温水愛名線 (温水) | 事業 着手 | 190m 0m | 計画 検討 | | 進捗なし |
| 9 | 2-14 愛甲高坪線 (温水) | 計画 追加 | 210m 210m | H28 完成 | 歩行 空間 整備 | 【平成28年度】 |
| 10 | 2-34 辻本郷線 (飯山) | 計画 追加 | 98m 98m | H25 完成 | 歩行 空間 整備 | 【平成23~25年度】 |
| 11 | 1-17 鳶尾幹線 (下荻野) | 計画 追加 | 100m 100m | H28 完成 | 歩行 空間 整備 | 【平成28年度】 |

位置図

■歩道の整備の進捗状況



<第7次計画事業>

| No. | 事業名 | No. | 事業名 |
|-----|---------------|-----|------------|
| ① | 2-24 森の里上古沢線 | ⑦ | 1-23 水引小野線 |
| ② | 1-14 旗谷上古沢線 | ⑧ | 1-8 温水愛名線 |
| ③ | 1-21 赤坂津古久環状線 | ⑨ | 2-14 愛甲高坪線 |
| ④ | 2-12 坊中竹ノ内線 | ⑩ | 2-34 辻本郷線 |
| ⑤ | 2-4 昭和用水線 | ⑪ | 1-17 鳶尾幹線 |
| ⑥ | 2-30 白根才戸線 | | |

Pickup

■歩道の整備の事業効果

歩道の新設や拡幅などにより歩道の安全性が向上したことに加え、歩道の連続性も高まり、利便性の向上も図られました。

2-34 辻本郷線【平成25年度完成】

整備後



1-23 水引小野線【平成26年度完成】

整備後



2-30 白根才戸線【平成26年度完成】

整備後



2-12 坊中竹ノ内線【平成27年度完成】

整備後



2-14 愛甲高坪線【平成28年度完成】

整備後



2-24 森の里上古沢線【平成29年度完成】

整備後



4)生活道路の整備

総合評価

身近な生活道路は、住みやすい環境を守り、災害時の避難路を確保する上で重要な役割を果たします。

幅員が4mに満たない狭い道路は、緊急車両の乗り入れや、消防活動の妨げになるなど様々な問題を抱えています。

第7次五箇年計画では年間35事業を計画し、地域の実情や生活環境に配慮しながら、計画以上の事業を実施することができ、市民が安全で安心して快適な日常生活を営める道路空間を確保することができました。

■生活道路の整備に関する総合評価

| 計画事業数 | 完成事業数 | 達成率 |
|--------|--------|------|
| 175 事業 | 196 事業 | 112% |

■生活道路の整備に関する各年度の評価

| 年度 | 計画事業数 | 整備実績 | 達成率 |
|--------|--------|--------|------|
| 平成25年度 | 35 事業 | 40 事業 | 114% |
| 平成26年度 | 35 事業 | 36 事業 | 103% |
| 平成27年度 | 35 事業 | 49 事業 | 140% |
| 平成28年度 | 35 事業 | 36 事業 | 103% |
| 平成29年度 | 35 事業 | 35 事業 | 100% |
| 計 | 175 事業 | 196 事業 | 112% |

Pickup

■生活道路の整備の事業効果

車道幅員を広げたり、排水設備を設置したりしたことで、歩行者や自動車が通行する際の安全性が向上しました。

また、車道が広くなったため、消防車等の緊急車両が通行できるようになり、防災機能も向上しました。

E-189 整備工事【平成 28 年度完成】



I-541 改良工事【平成 29 年度完成】



J-810 改良工事【平成 29 年度完成】









5) 個別対応(プロジェクト)による歩行空間等の整備

総合評価

幹線市道の歩道整備のようにネットワークの整備を第一とするものではなく、本厚木駅周辺地区の無電柱化、河川堤防等を活用した健康・交流のみちづくり事業など、その目的に応じた個別計画に基づき、潤いのある歩行空間等の整備や魅力の創出を図ってきました。

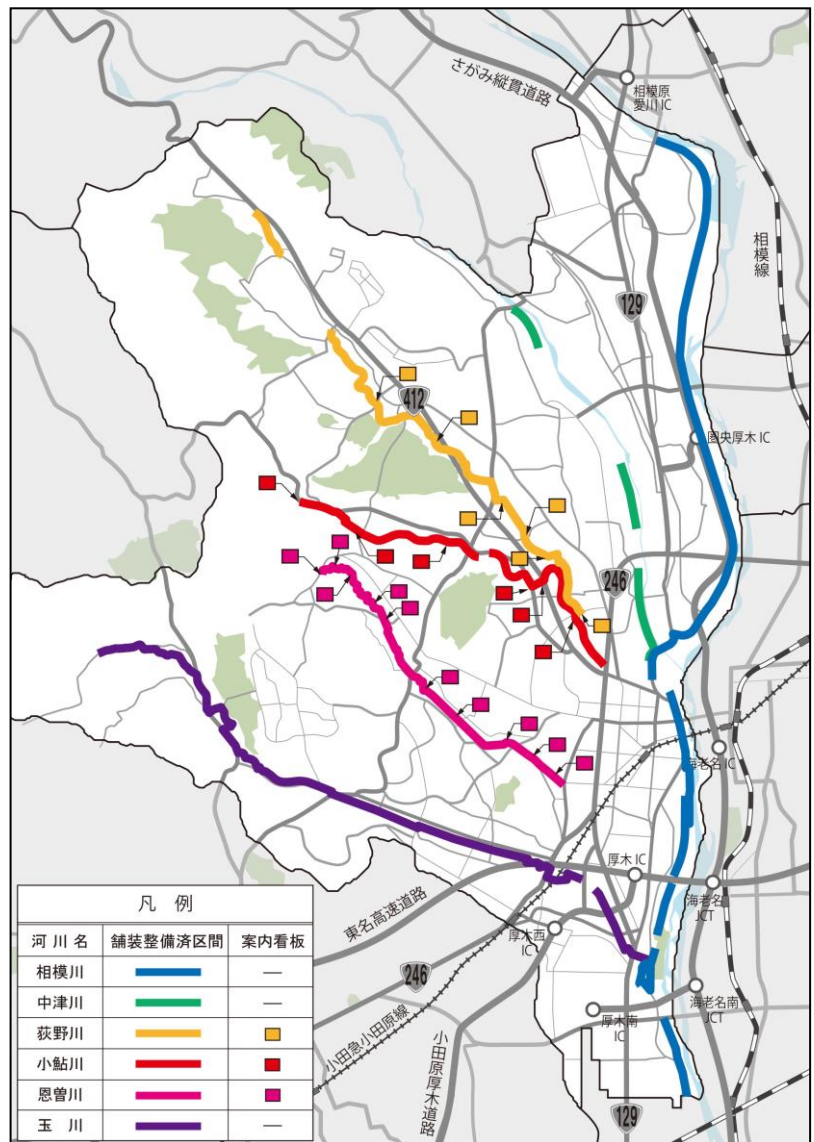
事業評価

■個別対応(プロジェクト)による歩行空間等の整備

| No | 事業名 | 役割 | 整備計画 | 整備実績 | 整備状況 | 完成により発現した効果 |
|----|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------|--------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 無電柱化事業 (本厚木駅周辺地区) | 本厚木駅周辺の中心市街地における市道で災害時においても安全で快適な道路空間を創出しました。 | H25 完成 | 228m |  |  |
| 2 | 自転車走行空間整備事業 (本厚木駅周辺地区) | 駅周辺の中心市街地において歩行者と自転車の錯綜がみられることから、歩行者と自転車の通行帯を明確化し、安全性の向上を図りました。 | 随時 整備 | 7,510m (路面表示) 197箇所 |  |  |
| 3 | 健康・交流のみちづくり事業 | 一人一人の暮らしを大事にする「ひと優先」の道づくり、市民の健康と交流を支える新たな道を目指し、地域資源である河川堤防等を活用した歩行者ネットワークをつくりました。 | 整備 継続 | (中津川) 2,790m (荻野川) 7,656m (小鮎川) 6,443m (案内表示設置) 22基 |  |  |

■健康・交流のみちづくり事業の整備状況

| 備考 【事業期間】 |
|------------------------------------------------------------------------------|
| H26 完成（細街路除く） 【平成 25～26 年度】 |
| H26 1,620m（44 箇所） H27 4,420m（97 箇所） H28 1,470m（56 箇所） 【平成 26～28 年度】 |
| 【平成 19～29 年度】 未整備区間は、市道未認定及び河川内民有地であり、現時点で施工可能な区間は全て整備済のため、「完成」として扱います。 |



Pickup

■歩行空間等の整備の事業効果(その1)

健康・交流のみちづくり事業
【平成29年度完成】

厚木市の魅力ある地域資源である河川堤防等を活用し、市民の方々の健康と交流を支える歩行者ネットワークを整備しました。

荻野川や小鮎川沿いの道は、市民の『お気に入りの道』にあげられています。

◆市民の声◆

(荻野川沿い)

- ・のどかな雰囲気ですりやすい。
- ・自然豊かで、田園風景もよい。

(小鮎川沿い)

- ・ランニングして気持ちがいい。

市民アンケート調査・WEB アンケート調査結果

整備前



整備後



荻野川沿いの道



整備した看板(荻野川)



(恩曾川)

※未整備となった区間については平成30年に迂回ルートの設定を行い、コース案内の冊子を作成。多くの市民の皆さんから愛される「健康・交流のみち」となるようPRに努めます。

Pickup

■歩行空間等の整備の事業効果(その2)

無電柱化事業

【平成26年度完成】

電柱を地中化することで、歩道を広く利用することができるようになり、歩行者の安全性が向上しました。また、台風や地震などの災害時に電柱が倒れる危険がなくなり、防災面でも安全性の高いまちづくりが進展しました。

さらに、電線がなくなったことで景観が美しくなり、本市の玄関口である本厚木駅前の魅力度も向上しています。

整備後

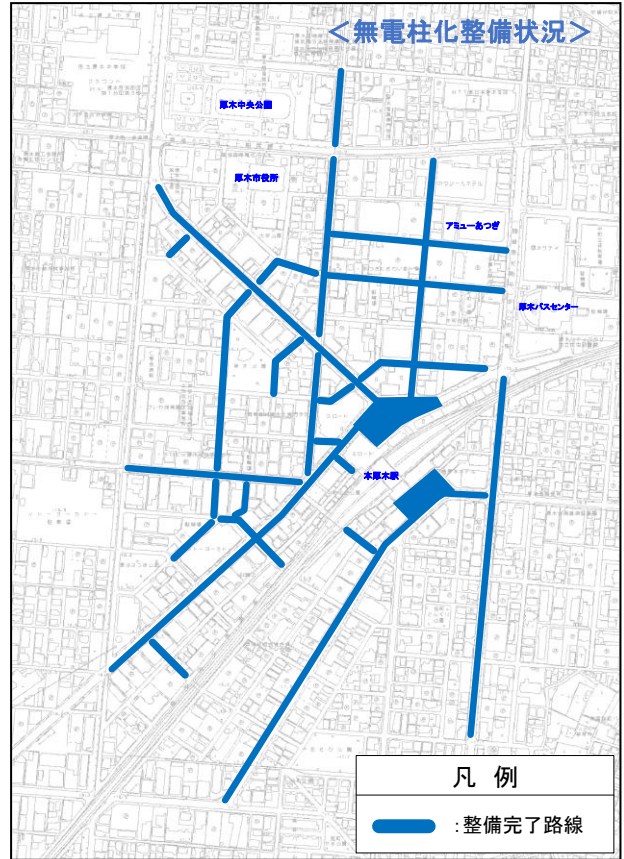


あつぎ大通り

整備後



アミーューあつぎ南側道路(A-363)



整備後



「にぎわい爆発！あつぎ国際大道芸」で賑わう厚木一番街通り

